

## 「本学神社をつくった人たちの明治

### ～伊那谷に夜明けは来たか、世直しの思想を追って～

高森町歴史民俗資料館長 松上清志

#### はじめに

- ・問題意識；本学神社をつくった人たちのエネルギーは、明治の新しい世の中でどのような方向に向かったのだろうか？
- ・『夜明け前』；木曾谷に夜明けは来たか？  
中津川資料館；中津川に夜明けは来たか？



伊那谷に夜明けは来たか



世直しの思想を追ってみたい

#### 1、本学神社をつくった人たちの世直しの思想

- ・慶応 3 年（1867）につくられた本学霊社一玉垣に囲まれて本殿（神殿）が二つ
- ・創立祭典に集まった人々—今回注目した 6 人；座光寺<sup>えいたろう</sup>盈太郎以外片桐<sup>ちさと</sup>千里、今村<sup>のぶみち</sup>信行、北原<sup>まさき</sup>稲雄、今村<sup>ちふる</sup>真幸、松尾千振は参列した。
- ・本学神社の創立に中心的な役割を果たし、創立される前年に急逝した座光寺家家老片桐春一が著した『天下無窮泰平基録』に見る世直しの思想  
『伊那』1979 年 5，6，8 月号岸野俊彦著「片桐春一の「天下無窮泰平基録」一、二、三」より

#### 2、戊辰戦争と伊那谷

- ・伊那谷を通った「官軍」—「甲州鎮撫高松隊」と相楽<sup>さがら</sup>総三の「官軍赤報隊」
- ・東山道鎮撫軍への参加—山吹藩は座光寺盈太郎を中心に 60 人が先鋒嚮導隊として  
「東山道鎮撫軍先鋒嚮導隊へ従軍した報告文下書き」（片桐家文書）  
—北原稲雄は中津川から諏訪まで案内する。（松尾<sup>ためよし</sup>為誠も）
- ・東北の地へ—奥羽鎮撫副総督 澤<sup>ためかず</sup>爲量に従った伴野村の松尾誠や座光寺村の北原信綱
- ・平田鍊胤家の江戸から京都への避難を支援する。—座光寺村の今村真幸と中島範武

#### 3、平田国学者たちの挫折

- ・二卿事件（外山・愛宕事件）—明治 4 年（1871）攘夷派の公卿、愛宕通旭と外山光輔が明治政府の顛覆を謀ったクーデター未遂事件。339 名が逮捕「安政以来の大獄」平田国学者や復古神道関係者も予防拘禁的に捕えられている。角田忠行や伊那県大参事落合直亮、池村久兵衛も
- ・廃藩置県（明治 4）、太陽暦採用（明治 5）、徴兵令交付、キリスト教禁令の撤廃（明治 6）
- ・北原稲雄が行った左院宛ての建白書 宮地正人著「歴史のなかの『夜明け前』」より

#### 4、官吏として国づくりに参加した人たち

- ・今村信行の裁判官への道、略年譜や片桐家への手紙文

- ・伊那県、筑摩県の官吏になり、その後開産社々長となった北原稲雄

開産社資料（山吹区有文書）

- ・岐阜県、長野県の土木課に勤めた今村真幸と司法省に出仕した松尾千振

## 5、地租軽減運動と自由民権運動

- ・筑摩県伊那郡の地租の不平等さ—地租軽減運動明治8年から信夫村森多平を中心にして市田村関川宗三郎、里美村宮下楠実、上郷村今村真幸も関わる。
- ・松沢求策と奨匡社（明治13年）—下伊那からは39名、里美村（山吹、大島）から15名  
清水迪夫著『一地方における近代思想のあゆみ』巻末資料より
- ・開産社をめぐる北原稲雄と松沢求策との論争（上条宏之著「信州豪農民権運動と開産社」）
- ・深山自由新聞の発行（明治15年）と愛国正理社

深山自由新聞の株主構成表と株主（一部）『東海と伊那』正木敬二著より

## 6、大日本実行会の成立と社会変革運動

- ・不二教から神道実行教へ、そして大日本実行会の成立（明治32年）（栗谷真寿美著「大日本実行会の成立」より）—松尾千振の伴野堤防づくりにかけた情熱  
「大日本実行会」役員名簿『伊那尊王思想史』市村威人著より
- ・今村真幸の晩年の思想—水戸浪士頭彰と細民救済、そして日本社会党入党（明治39年）  
「細民救養建白書」における8つの具体策（上条宏之著『変革における民衆』より）

## 7、本学神社の再建

- ・大正6年五十周年を迎えた本学神社の状況—神社再興の活動

本学神社再興に関する文書（片桐家文書）

- ・昭和5年（1930）9月14日徳富蘇峰が本学神社を参拝する。

## まとめにかえて

- ・平田国学者が思い描いていた新しい世の中とはならなかったのではないか。（激しく動いた**激動**の世の中が到来したのは確か。）
- ・世直しの思想を持って明治の時代を迎えた人たちは、自分の持ち場で、周りの人たちのために精一杯生きたと言える。
- ・ここに登場した人たちの多くは、地域における上層に位置する人たちで、ネットワークでお互いがつながっていることに気づかされる。下層の人々がこの明治の世の中をどうとらえ、どう生きていたのかが今一つ明らかにできなかった。
- ・「不二教から大日本実行会へ」という動きに端的に示されていると思うが、**非合理的な世界、不合理的な世界からより合理性をもった世界を求めて世直しの思想が展開されてきた**と言えるのではないか。伊那谷は、そのような思想を伝統的に持っている地域なのか。